

令和7年度 茅野市高齢者大学「冬の講座」学生募集要項

茅野市高齢者大学「冬の講座」は茅野市中央公民館での開催となります。

1 募集定員 各講座とも20名。定員になり次第締め切ります。

2 募集期間 令和7年10月23日(木)～11月10日(月)

3 申込手続き・申込先 (※受付は、平日の午前9時～午後5時まで)

- 入学希望の皆さんは、募集期間中に「入学願書」を茅野市中央公民館窓口提出してください。
- 電話での申し込みの場合は、「入学願書」を郵送します。必ず、本人が正確に記入してください。全てが記入されているか確認の上、募集期間中に入学願書を茅野市中央公民館窓口提出してください。(初回講座日〔11月25日(火)〕に受講料(1000円)とともにご提出いただいても結構です)
〔電話申し込みは、茅野市中央公民館(72-3266)、平日9時～17時をお願いします〕

4 入学資格 茅野市内在住の概ね 60歳以上 で、主体的に学ぶ意欲を持ち、ほぼ 全ての開講日を受講できる方。

5 受講料 1,000円 (受講料は、初回講座日に集金します)

6 開講日(教養講座・技能講座)および開講時間等

【開講日】① 11月25日(火) ② 12月2日(火)〔教養講座〕 ③ 12月9日(火)

④ 令和8年-1月6日(火) ⑤ 1月20日(火) ⑥ 2月10日(火) 以上6回

【開講時間】 13:30～15:30

【開講式】 11月25日(火) 13:15～ (技能講座開始前に開講式を行います)

受付 12:45～ 茅野市中央公民館 2階 ロビー

7 会 場 茅野市中央公民館 <すべての講座を茅野市中央公民館で行います>

8 感染症の基本的な感染拡大防止対策への協力をお願いします。

- (1) 発熱や体調不良時には受講をお控えください。
- (2) 施設内でのマスク着用は個人の判断となります。会話をするとき等、必要に応じて着用してください。
- (3) 施設内での咳エチケットや手洗いの励行を推奨します。

9 学習内容

(1) 教養講座 【全員受講】

日 程 12月2日(火) 午後1時30分から午後3時30分

講 師 諏訪交響楽団メンバー (予定)

場 所 中央公民館 2階 学習室or視聴覚室

演 題 (未定)

講 演 演奏を中心とした講座(予定)
内 容

(2) 技能講座【1講座を選択】

講座 講師(敬称略)	学 習 内 容
水墨画 小澤 富九衛	水墨画は、墨の濃淡のグラデーション(暈し・滲み・霞れとも言います)で、遠近感や立体感を表現させる描画方法です。逆に単純な表現方法ですが、奥の深さを実感できる要素も持っています。筆と墨で表現する芸術作品づくりに挑戦してみませんか。講座は、画題(A3用紙)を提示して、教室にて描き方を学び、画題作品を自宅で完成させます。その作品を次の講座にて、無記名で展示して、皆さんで合評し合いながら、技術・技能を上達させていきます。挑戦する課題の内容は、事前にお知らせします。ぜひ自分の作品を完成させて、展示することに挑戦してください。 (道具について) 道具は、水墨画用紙和紙麻紙(F6・F8・F10)・筆は、大中小の筆・下敷き・墨汁・調墨皿(白血)・9B鉛筆・フェルト筆・特殊筆2～3種、入学講座時に注文書にて、次の講座までに用意します。 (初回の持ち物) 自宅にある習字筆、皿(白血)、筆拭き用布等を用意ください。
書道 藤森 千恵子	漢字・かな等の基本について学習します。条幅作品の制作も継続していきます。なお、書道希望者が20名を越えた場合には、人数調整させていただくことがありますので、ご了承ください。 (持ち物) 書道用具一式 一般に使用しているお習字道具で、子どもさんお孫さんのお下がりでよいです。筆・紙・墨液等は初回当日に斡旋もします。(新しい筆を用意したい方は、購入されず初回に相談してください)
俚謡 河西 允人	俚謡の歴史や創作の基礎的なルールや約束について勉強します。実際は俚謡の創作が中心になります。また、受講生の希望があれば短歌や俳句、川柳など韻文を中心に共に学びます。課題に創作作品を一章提出し、披講を受けたり、他出席者の作品の披講を聞いたりして自他の向上に努めます。1日の課題は3～5題です。 (持ち物) 筆記用具、国語辞典、ノート
手あみ 高木 美登子	ベストを製作します。テーマ作品は、 ○かぎ針あみ:「リピートベスト」(かぎ針6/0号、5/0号) ○棒針あみ:「透かし柄のベスト」(棒針7号2本針、5号4本針または5号2本針と60輪針5号) 受講中に仕上がるように作品を選んでください。1回目の講座で作品と糸を決めていただきます。(講座回数が限られているため、指定した糸の中から選んでいただきます) (持ち物) 上記の編針、必要な編針、毛糸を切るハサミ、メジャーまたはものさし(30cm位)、毛糸とじ針、筆記用具、メガネ(手元の細かい作業になるので必要な方は必ずお願いします)
絵手紙 川田 和弘	下手でもいいが合言葉になっている絵手紙。川田流はそれ+汚していい、わがままがいい。絵手紙という新しいジャンルは誰かに出すのではなく、水彩画に文字を入れたもの。諏訪地方にはぜい沢な素材が尽きず、それを絵や文字にすれば人生の絵日記に、しかも脳トレで〇〇防止の効果も期待大。講座5回では材料の特徴や使い方を楽しく実践します。 (道具について) F4スケッチブック、角顔彩絵の具、筆は用意をします。初回(11月27日)の講座にて5,500円の集金になります。(希望者は、募集申し込みの時に「絵手紙道具セット5,500円を注文したい」と事務局へ申し出てください。また、単品の場合は個人で用意してください。) (持ち物) 新聞紙1枚、ぼろ布1枚(あれば日本手ぬぐい)、4Bか6Bの鉛筆1本、水を入れる容器(小さな広口ガラス瓶等)、消しゴム1個

11 その他

技能講座の人数が極端に少ない場合には開講できないことがあります。

茅野市高齢者大学事務局(茅野市中央公民館内)

住所: 長野県茅野市宮川 4552-2 TEL: 0266-72-3266 FAX: 0266-71-1631